



第90回中央眼科集談会

(生涯教育単位：2単位)

日時：2016年3月18日(金) 18:30~20:40

場所：聖路加国際病院 本館2階「トイスラーメモリアルホール」

〔一般講演〕

18:30~19:00

「白内障術後の視力改善を目的としたタッチアップLASIK」

聖路加国際病院眼科：安田明弘 興水純子 大越貴志子

19:00~19:30

「逆瞳孔ブロックを発症した症例の検討」

二本松眼科病院：小林円 植田俊彦 鈴木弘隆 宇多重員

19:30~19:40 コーヒーブレイク

〔特別講演〕

19:40~20:40

「ドライアイ診療はこう変わる! ~見えない所見の見える化~」

伊藤医院眼科 有田玲子先生

“ドライアイと一口に言っても水が足りないドライアイと脂が足りないドライアイがあるのをご存じですか?”と患者さんにきいてみるとほとんどの患者さんがそれを知りません。それもそのはずです。長い間、ドライアイは涙の水分が足りない疾患という位置づけで診断も治療もなされてきたのですから。しかし、この10年のあいだにドライアイの情勢は大きく変化しました。涙液の脂を分泌しているマイボーム腺を非侵襲的に観察するマイボグラフィの開発(Aritaら2008年)によりあぶらの臨床研究が大きく前進し、ドライアイは涙液の脂が足りないことが主因であると報告されました(Lempら2012年)。アジアではその割合は欧米の数倍とされています。本講演では、“涙のあぶらを診断、治療する”、という観点から今まで見えなかったマイボーム腺の機能や形態を見てドライアイの主因であるマイボーム腺機能不全の本態に迫り、明日からの診療に役立つ世界最前線の内容をお届けしたいと思います。